

東大阪工場 改造計画!!

以前から、東大阪の衛生面での向上を働きかけておりましたが、ついに実現しました。まずは、倉庫棟の男子用トイレと事務所棟の女子用トイレをリニューアルしました。家主さんのご理解とご協力のもと6月13日に改装工事を行いました。改装への進展ならびに工事の立会を大阪製作部課長の川崎さんに担当していただきました。ありがとうございました。

近年では、ほとんどの施設は洋式トイレ・自動洗浄小便器が主流となっていますが、今までの東大阪工場のトイレは近年まれにみる和式であり、手動洗浄小便器でした。ですので、若い社員や工場に来られた協力会社の皆さんはレトロな印象をお持ちになった方々や、「和式を初めて見た・・・」「ちょっと和式は・・・」という声もちらほらありました。

自動洗浄小便器は、機種にもよりますが人が使用していなくても定期的に水を流すシステムになっています。水が流れないままだと水が滞ることで、悪臭の原因となります。それを防ぐために定期的に水を流す事で悪臭を防いでいます。リニューアル前の小便器は、この機能がなかったため、掃除をしても悪臭を防ぐことができませんでした。これからは臭いを気にする事無く使用できます。



自動洗浄小便器



洋式トイレ
ウォシュレット付き

また、バリアフリーの観点からみるとバリアフリーで使用されるトイレは基本的に洋式トイレ(ウォシュレット機能付き)になっています。これは和式では、腰に持病がある方や足にケガされている方に対して配慮しにくいからです。そういった意味で洋式に変わったことで老若男女が使用できるようになりました。

日常生活を送っていく上でトイレはなくてはならない衛生設備です。ですので、清潔さや使いやすさを向上させることでストレスフリーに繋がっていきます。次に使用する人の事を思いやる気持ちを1人ひとりが持って衛生的にも精神的にも皆がすごしやすい職場環境に安全衛生向上委員として目指していきます。

★大阪製作部係長 上埜さんにトイレの改修後、話をうかがいました!

『工場内で作業される業者さんも安心して案内できる清潔感があるお手洗いになって本当によかったです。清潔感を維持できるようきれいな環境をこれからも心がけていきたいです。』

熱中症について

7月に入り本格的に気温が高くなってきます。今年の夏は、気象庁によると平均並みだそうです。それでも気温は30度以上になる日々が続くでしょう。厚生労働省の統計をみると、熱中症が原因で毎年10人以上の死者が出ています。また業務上疾病者(休業4日以上)についてはここ5年で400人以上での推移となっています。その400人のほとんどをしめているのが建設業です。最近の屋外現場は建設なみの規模になってきていますので注意が必要です。予防については、大きくまとめると下記の2点になります。

暑さを避ける

水分・塩分をこまめに摂取

チーフ・営業・安全監視員が連携をとりあい、上記の2点を遂行できるようにしましょう。ここで注意しなければならないのが、暑さの感じ方は人によって違うということです。その日の体調や体型、暑さに慣れているかどうかの影響していきます。特にアルバイトさんは、基本的に現場に慣れていない人が多いので特に注意を向けていかなければなりません。また、節電を意識するあまり、屋内での熱中症予防を怠ることはやめましょう。気温や湿度の高い日には、無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用しましょう。

